

安全で安心な

まちづくり推進大会

安心して暮らせる社会の実現に向け、「安全で安心なまちづくり推進大会」が10月13日、小川総合福祉センターあじさいホールで行われ、約2000人の関係者が出席しました。

大会は町長や来賓のあいさつ後、「安全・安心なまちづくりについて」と題して、県警本部生活安全企画課の桶田警視による講演があり、「地域のコミュニケーションがしっかりと行ければ、犯罪を抑制することになる」と話していました。

大会終了後、あじさいホール前で「町役場パトロール隊」の青色回転灯装備車出発式が行われ、パトロール隊が白バイや地元ライダーらの大型バイク21台を従えてパレードしました。



小砂野焼祭

10月8日、藤田製陶所駐車場で「小砂野焼祭」が行われました。

野焼は地面に約30センチの土を円形に盛った中に、薪をくべて焼いていくものです。今回は初めての開催なので、参加者の作品は少ないということでしたが、つぼや皿など約50点が焼かれました。町内外から訪れた約200人の方々は、土器で炊いた「縄文めし」や「縄文猪鍋」などを楽しみながら、燃え上がる炎の中の作品を見つめていました。

祭を計画した藤田眞一さん（小砂）は、「自分たちが携わっている仕事は地域で楽しめることをしてみたい。この祭が小砂焼や町のシンボルとなるように頑張っていきたい」と仲間の方々と話していました。



第28回小川児童館まつり

28回を迎えた小川児童館まつりが10月29日、小川中央公民館大会議室で行われ、約70人の児童らが訪れました。

児童館運営委員会の薄井博美会長は「朝のあいさつを先に言った人は、その日気持ちよく過ごせる。皆さんも進んであいさつをしましょう。今日は一日、楽しんでいってほしい」とあいさつ。

大型ジグソーパズルや風船バドミントン、こいのぼりを使った通り抜け遊びなどで遊ぶ、にぎやかな児童らの声が室内に響きわたりました。



サツマイモ掘り

薬利小

10月20日、薬利小学校全校生50名はサツマイモ掘りを行いました。

児童らは学校の近くの圃場「アグリメイトクラブ活動支援事業農業体験場」で春、植え付けたサツマイモを移植してスコップを手に掘りました。ユニークな形の芋、長い芋、重い芋などに分類し、チームごとに競います。一番重いサツマイモや長いサツマイモを11月8日の収穫祭で表彰するそうです。

教務主任の磯先生は「児童たちは収穫祭にはサツマイモでスイートポテトなどを作り、みんなで食べるのを今から楽しみにしています」と話していました。



梨狩りでごっこり

小川第2保育園

10月31日、星和美さん（恩田）の梨畑で第2保育園の園児30名が梨狩りを楽しみました。

この梨狩りは星さんのお孫さんが第2保育園に通園しているため、「日ごろ、お世話になってるので、感謝の気持ちで計画しました。皆さんで楽しんでほしい」と招待しました。

園児たちは梨のもぎり方の説明を受けた後、約1キロ前後の重さの梨「ごっこり」を一つずついいねいにもぎりまじりました。

最後に、もいだばかりの梨をほおばり、甘くてみずみずしい「ごっこり」の味を味わいました。



ホームステイ
ウィークエンド in 那珂川
2006
「稲刈り」

10月13日から15日にわたり、外国語指導助手（ALT）や県内に在住している外国人が那珂川町の家庭にホームステイする「ホームステイウィークエンド in 那珂川2006」が開催されました。

この事業は、町教育委員会や国際交流事業企画運営委員会が主催し、稲刈りや日常生活をとにもすることにより地域の国際交流の推進を図ることを目的に開催され、今年で11回目を迎えました。今年にはアメリカやカナダ、オーストラリア、中国、マレーシアなど10カ国、22名が参加しました。

14日、春に田植えをした福島泰夫さん（芳井）の水田で昔ながらの手作業での稲刈りを体験しました。その後、昨年収穫したもち米でもちつきをし、古代米が入った長のり巻きを作りました。のり巻きやもち、ボランティアグループ「芳井夢の会」や「舟

戸元気かい」の作ってくれたお料理に舌鼓を打ちました。

最後に外国人を代表して、ジョルダン・ロマンさん（フランス）が「日本の伝統的な体験ができ、とても楽しかった。ありがとうございました」とお礼の言葉を述べました。参加した外国人には福島さんからコシヒカリの新米がお土産に配られました。

